

河北新報普及センターと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2019年 7月



ハナモモちゃん

【発行】河北新報普及センター
 【協力】尚絅学院大 河北仙阪
 【エリア】名取市内
 【部数】11,600部
 【電話】022(266)2991

子ども達が演技で魅了

名取こどもミュージカル尚絅公演

子どもたちによる「名取こどもミュージカル」の公演が6月29日、尚絅学院大ホールでありました。小学2年〜中学2年の男女約40人が出演し、「みにくいアヒルの子」を上演しました。主演の「みにくいアヒルの子」を演じた中学2年曾我珠夕さん(13)は「セリフに感情を込めるのが難しく、注意して練習に取り組みました」と話し、終演後に盛大な拍手を浴びると、満面の笑みを浮かべていました。



母アヒルを演じた中学2年の齊藤泉さん(13)は「観客がとても多く緊張しましたが、終えた時の拍手を聞いてうまかった」と安心しました。副実行委員長 齊藤邦江さんは「子どもたちは公演や練習を

重なることに成長してきました」と目を細めていました。次回は来年3月20、21日の両日名取市文化会館で上演予定です。中学2年の大河内一希君(13)は、11月から始まる本格的な練習に向けて「一致団結して練習に取り組みたい」と意気込んでいました。



国指定史跡 雷神山古墳

東北最大級 市内を一望



名取市内の遺跡・史跡など文化財を巡る「名取史跡巡り」ハナモモ記者が「気になる遺跡や史跡などの文化財を紹介し、第2回は雷神山古墳を紹介しました。雷神山古墳は古墳時代の4世紀ごろに造られた。円形と方形を組み合わせた「前方後円墳」で、全長168m、後円部の高さ12mと規模は東北地方最大級。近くの小塚古墳とともに、1956年に国の史跡に指定されています。古墳は3段に造られていて、1段目はその当時の地面を古墳の形に削り出し、削った土を積み上げて2段目、3段目が造られています。周囲は土を掘り上げた部分を平らにした周溝(しゅうこう)があり、さらに外側に土手のような周堤が見られます。



名前の「雷神」は、古墳の頂上に雷神様のほこらが祀ってあったことに由来しています。埋葬者は不明ですが、近畿地方の大和王権と強い関係を持ち、名取を中心とした地域を治めていた豪族ではないかとされています。古墳の周囲には桜が植えられていて、春は花見客でにぎわいます。標高40mほどの丘陵地に築造されているため、市内が一望できるだけでなく、晴れた日は海まで見渡すことができそうです。スケールの大きさと心地よい風を感じに訪れてみてはいかがでしょうか。本コーナーは読者のリクエストも受け付けています。知る人ぞ知る名所、旧跡、いわれのある銘品などがあります。河北新報普及センターまでご連絡ください。(山本想良)



